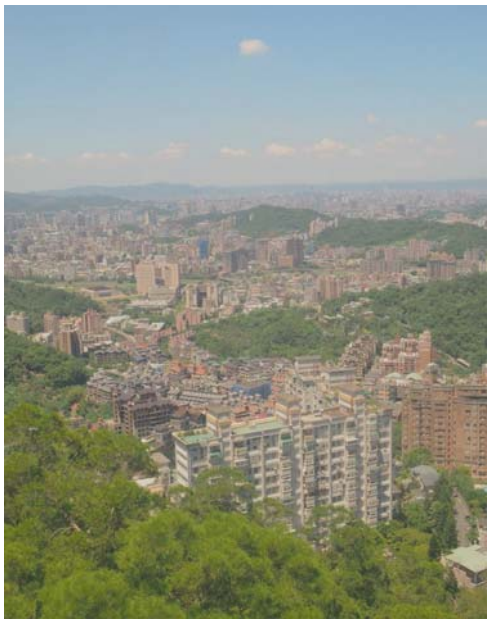
国立台湾大学交換留学生　文理学部中国語中国文化学科３年　高橋成美

２０１３年９月

８月４日に台湾に来て、１ヶ月が経ちました。８月は台湾大学のサマープログラムに参加しました。サマープログラムには 3 つのコースがあり、私は中国語と台湾の文化を学ぶコースに所属して１ヶ月間、毎日中国語の授業を受け、台北市内の観光名所を巡りました。

サマープログラムには、大陸から来た中国人や日本人の他にドイツやフランスなどの欧米人やアメリカ在住の華僑などが参加しており、彼らとは英語や中国語を使ってコミュニケーションを取っていました。それぞれ様々なバックグラウンドを持っているため、会話をとおして多くの発見や驚きがあり、とても刺激的でした。



猫空から見た台北市内

台湾にいる間は大学の学生寮に住みます。私が住んでいる寮はキャンパスから歩いて 5 分のところにあり、比較的新しく綺麗な寮です。私の部屋は１人部屋なのですが、思ったよりも広く、冷蔵庫や本棚、クローゼットも完備しています。１階の入り口はオートロックかつ、ロビーには 24 時間管理人がおり、初めての長期間の海外生活でも安心です。

9 月からは本格的に交換留学生としての生活が始まりました。交換留学生は毎日中国語の授業を受講することができます。月水金は一般的な中国語のコースで、指定された教科書に沿って授業が行われます。火木は応用コースで、より実践的な内容を学びます。学期の初めに中国語のクラス分けテストが有り、私は毎日朝 8 時から 2 時間中国語の授業を受講しています。中国語の授業以外には，東南アジアの歴史と台湾の自然に関する授業を履修しています。

国立台湾大学の施設や設備は日本のどの大学にも負けないほど素晴らしいものです。メインキャンパスは台湾の国土の１％を占め､その中で３万人の学生が勉学に励んでいます。授業が終わると図書館に行って勉強することが習慣となっているのですが、館内には中国語の本以外にも英語はもちろんのこと、日本語や韓国語の本も豊富にあり、とても充実しています。また、キャンパス内にはテニスコートのほか、バスケットコート、サッカーグラウンド、野球場、プール、卓球場などありとあらゆるスポーツ施設が揃っています。

これからここで留学生活が送れると思うとうれしくてとてもワクワクします。台湾大学で１年間精一杯頑張りたいと思います。

キャンパス内の椰子の木通り